

平成 20 年 3 月 日

国土交通省北海道運輸局長 殿

申請者名 当別町地域公共交通活性化協議会
 代表者名 会長 近 藤 充 徳

当別町地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書

地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名： 当別町地域公共交通活性化協議会
	代表者名： 近 藤 充 徳
	構成員： 当別町・北海道運輸局(札幌運輸支局)・北海道(石狩支庁)・ (社)北海道バス協会・北海道開発局札幌開発建設部(当別道路 維持事務所)・北海道札幌土木現業所(当別出張所)・J R 北 海道(J R 石狩当別駅)・北海道医療大学・北洋交易(株)・と うべつ整形外科・(有)下段モータース・山内建材工業(株)・当別 町行政推進員連絡協議会・当別町 P T A 連合会・当別町高齢 者クラブ連合会・当別町女性団体連絡協議会・当別町ボラン ティア連絡協議会・当別町商工会・当別町社会福祉協議会
連絡先(事務局等)	所在地(都道府県名も記載)： 〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58-9 当別町企画部企画課
	担当者名： 熊 谷 康 弘
	T E L : 0133-23-3042
	F A X : 0133-23-3206
	E-mail : yasuhiro.kumagai@town.tobetsu.hokkaido.jp

1 . 地域公共交通総合連携計画の名称

当別町地域公共交通総合連携計画

2 . 当別町地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第 5 条に基づく当別町地域公共交通総合連携計画の円滑かつ確実な実施を確保するため、同計画において実施することとされた事業の円滑かつ確実な立ち上げについて、同計画の計画期間の当初 3 年間に於いて、特に、同法第 6 条に基づく協議会が、地域公共交通活性化・再生総合事業による支援を活用しつつ、取り組むこととする事業について、当別町地域公共交通活性化・再生総合事業計画（「総合事業計画」）として以下のとおりとりまとめ、計画的かつ効率的・効果的な実行を確保することを目的とする。

3 . 総合事業計画の全体事業計画

（ 1 ）全体事業計画の目標

（目標）

- ・ 継続可能なコミュニティバス運行体制の構築
- ・ コミュニティバス収支率の改善（平成 18 年度 16.5% 平成 22 年度 25%）
- ・ 公共交通機関利用者の増加（平成 18 年度コミバス利用者数 135,4079 人 平成 22 年度 160,000 人）
- ・ 参加事業者及び行政の負担削減
- ・ 地元企業及び住民による公共交通への主体的関与
- ・ 地域コミュニティの活性化

（評価事項）

- ・ バスと JR との連結強化
- ・ 公共交通空白地域の解消
- ・ 病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
- ・ 参加事業者及び行政コストの抑制
- ・ 公共交通に対する意識の変容
- ・ 公共交通の利便性等に対する満足度の向上
- ・ 潜在する公共交通未利用者（転換候補層）へのアプローチ
- ・ 地域コミュニティの向上
- ・ 継続可能な運行体制の検討

(2) 全体事業計画の事業スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印()、または横棒線()で記載。

事業の名称	平成 2 0 年度				平成 2 1 年度				平成 2 2 年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
コミュニティバス 実証運行												
設備の充実												
利用促進策の実施と 公共交通サービスに 関する情報提供												
調査・研究等												

(3) 全体事業計画の事業費等

事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
コミュニティバス実証運行	132,980 千円	66,490 千円	66,490 千円
設備の充実	63,900 千円	31,950 千円	31,950 千円
利用促進策の実施と公共交通サービス に関する情報提供	13,150 千円	6,575 千円	6,575 千円
調査・研究等	9,750 千円	4,875 千円	4,875 千円
小計	219,780 千円	109,890 千円	109,890 千円

4 . 総合事業計画の各年度事業計画			
4 - 1 . 初年度（平成20年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
コミュニティバス実証運行	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町全域でコミュニティバスを実証運行し、潜在する需要を喚起し、公共交通空白地域だった路線の定着を試行する ・JRと連結してDRT型の予約制深夜バスを運行し、DRTシステムの適応を検証する 	当別町公共交通 活性化協議会 (有)下段モータース	<ul style="list-style-type: none"> ・バスとJRとの連結強化 ・公共交通空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停及び待合所、コミバスとJRとの接続情報等の提供システムを整備し、利便性向上を図る ・車内アナウンスシステムを導入し、利便性向上を図る 	当別町公共交通 活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者及び行政コストの抑制 ・公共交通に対する意識の変容
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・MM及び利用感謝ツアーの実施や交通マップの作成し、公共交通を身近に感じられるよう啓発に努め、利用促進を図る ・バス利用者からのBDF回収システムを構築し、環境配慮等のイメージアップを図る ・車両ラッピングや車内での展示会等を開催し、イメージアップと利用促進を図る 	当別町公共交通 活性化協議会 (有)下段モータース	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用者の利便性等に対する満足度の向上 ・潜在する公共交通未利用者（転換候補層）へのアプローチ
調査・研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・ODやアンケート調査等を行い現状の把握と改善点を整理し、今後の検討材料とする ・次年度に導入するバスを使った「物流システム」構築の検討を行なう 	当別町公共交通 活性化協議会	
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
コミュニティバス実証運行	43,660 千円	21,830 千円	21,830 千円
設備の充実	19,900 千円	9,950 千円	9,950 千円
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	6,150 千円	3,075 千円	3,075 千円
調査・研究等	3,550 千円	1,775 千円	1,775 千円
小計	73,260 千円	36,630 千円	36,630 千円

4 . 総合事業計画の各年度事業計画

4 - 2 . 2年度（平成21年度）事業計画

(1) 事業計画の概要（目標）等

事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
コミュニティバス実証運行	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町全域でコミュニティバスを実証運行し、潜在する需要を喚起し、公共交通空白地域だった路線の定着を試行する ・J Rと連結してD R T型の予約制深夜バスを運行し、D R Tシステムの本格導入を検討する ・バスによる物流システムを導入し、地域コミュニティの活性化を図る 	当別町公共交通 活性化協議会 (有)下段モータース	<ul style="list-style-type: none"> ・バスとJ Rとの連結強化 ・公共交通空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上 ・参加事業者及び行政コストの抑制
設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停及び待合所、コミバスとJ Rとの接続情報等の提供システムを整備し、利便性向上を図る ・ノンステップバスを導入し、高齢者等の利便性向上を図る 	当別町公共交通 活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に対する意識の変容 ・公共交通利用者の利便性等に対する満足度の向上
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・M M及び利用感謝ツアーを実施し、利用促進を図る ・町内企業や住民に対しノーマイカーデーを実施し、潜在する公共交通未利用者（転換候補層）の発掘と意識の変容を促す ・車内での展示会等を開催し、イメージアップと利用促進を図る 	当別町公共交通 活性化協議会 (有)下段モータース	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在する公共交通未利用者（転換候補層）へのアプローチ ・地域コミュニティの向上 ・継続可能な運行体制の検討
調査・研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・O Dやアンケート調査等を行い現状の把握と改善点を整理し、今後の検討材料とする ・住民及び協議会構成員を対象としたセミナー等を開催し、公共交通は「地域のもの」という認識を持たせる 	当別町公共交通 活性化協議会	

(2) 事業費等

事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
コミュニティバス実証運行	44,660 千円	22,330 千円	22,330 千円
設備の充実	22,200 千円	11,100 千円	11,100 千円
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	3,250 千円	1,625 千円	1,625 千円
調査・研究等	3,150 千円	1,575 千円	1,575 千円
小計	73,260 千円	36,630 千円	36,630 千円

4 . 総合事業計画の各年度事業計画

4 - 3 . 3年度（平成22年度）事業計画

（1）事業計画の概要（目標）等

事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
コミュニティバス実証運行	・これまで行なってきた実証運行の結果を反映し、次年度以降における継続可能な本格運行へ繋げる	当別町公共交通活性化協議会 (有)下段モータース	・バスとJRとの連結強化 ・公共交通空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
設備の充実	・バス停及び待合所、コミバスとJRとの接続情報等の提供システムを整備し、利便性向上を図る ・ノンステップバスを導入し、高齢者等の利便性向上を図る	当別町公共交通活性化協議会	・参加事業者及び行政コストの抑制
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	・MM及び利用感謝ツアーの実施や交通マップの作成し、公共交通を身近に感じられるよう啓発に努め、利用促進を図る ・町内企業や住民に対しノーマイカーデーを実施し、潜在する公共交通未利用者（転換候補層）の発掘と意識の変容を促す ・車内での展示会等を開催し、イメージアップと利用促進を図る	当別町公共交通活性化協議会 (有)下段モータース	・公共交通に対する意識の変容 ・公共交通利用者の利便性等に対する満足度の向上 ・潜在する公共交通未利用者（転換候補層）へのアプローチ ・地域コミュニティの向上
調査・研究等	・ODやアンケート調査等を行い現状の把握と改善点を整理し、本格運行への検討材料とする	当別町公共交通活性化協議会	・継続可能な運行体制の検討

（2）事業費等

事業の名称	総事業費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
コミュニティバス実証運行	44,660 千円	22,330 千円	22,330 千円
設備の充実	21,800 千円	10,900 千円	10,900 千円
利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供	3,750 千円	1,875 千円	1,875 千円
調査研究等	3,050 千円	1,525 千円	1,525 千円
小計	73,260 千円	36,630 千円	36,630 千円